

NIMS Conference 2010

“ナノ材料科学の挑戦 - 環境・エネルギー問題の解決に向けて - ”

2010年7月12-14日
つくば国際会議場 (エポカルつくば)

<http://www.nims.go.jp/nimsconf/2010>

開催趣旨

地球温暖化問題を始めとする私たちが直面している環境問題は、16テラワットとも言われている、人類が利用するエネルギーの総量が、地球の許容量に近くなったことに起因しています。豊かな生活を持続させるためには、環境への負担を少なくする技術を開発することが必要です。このような状況の中、2009年に文部科学省の「ナノテクノロジーを活用した環境技術開発プログラム」において、物質・材料研究機構 (NIMS) を中核機関とするオールジャパンの拠点形成を目指す計画が採択され、「ナノ材料科学環境拠点」が設立されました。当拠点では理論計算と先端解析技術を中心に据え、太陽エネルギー変換を出発点とする一連の材料技術のブレークスルーにつながる methodology の普遍化を実現します。

この度、物質・材料研究機構ではナノ材料科学環境拠点が中心となって、7月12～14日にNIMS Conference 2010を開催します。“ナノ材料科学の挑戦 - 環境・エネルギー問題の解決に向けて - ”をテーマとして、問題解決に向けた材料科学・ナノテクノロジーのあり方について、広く議論を行いたいと考えています。

NIMS Conference 期間中には、環境・エネルギー技術に貢献するための材料科学・技術という観点から、NIMS 賞授与式および受賞記念講演、国内外の著名研究者によるレビュー講演を始め、8つのオーガナイズドセッションが行われます。多数の皆様のご参加をお待ちしております(講演・討論は英語で行われます)。

参加登録 (無料)

下記より、事前参加登録をお願いいたします。

<http://www.nims.go.jp/nimsconf/2010>

事前登録者は、会期中の全プログラムに参加できます。

また、概要集、7月12日の懇親会チケットが配布されます。

プログラムの概要

■7月12日(月)10:00～18:00 (大ホール)
2010年度NIMS 賞授与式

材料科学とその関連分野において、顕著なブレークスルーを成し遂げた研究者にNIMS 賞を授与します。

受賞記念講演

Prof. Jean-Mary Tarascon

(University of Picardie Jules Verne 教授, France)

基調講演

藤嶋 昭 (東京理科大学 学長)

特別講演 (講演順)

潮田 資勝 (NIMS 理事長)

Prof. Prashant Kamat

(University of Notre Dame 教授, USA)

大野 隆央 (NIMS ナノ材料科学環境拠点 マネージャー)

射場 英紀 (トヨタ自動車 電池研究部長)

Dr. Sebastian Fiechter

(Helmholtz-Zentrum Berlin, Germany)

■7月13日(火)、14日(水)

シンポジウム

(7/13 中会議室 201、406、102、7/14 中会議室 201、202)

「理論計算」、「太陽光発電」、「光触媒」、「二次電池」、「燃料電池」、「触媒・環境浄化材料」、「先端計測」、「エネルギー変換」の8サブテーマについて開催します。国内外から当該分野の著名研究者を招き、研究の現状と今後の方向性について議論します。

会場

つくば国際会議場 (エポカルつくば)

305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20-3

TEL: 029-861-0001 FAX: 029-861-1209

<http://www.epochal.or.jp>

連絡先

NIMS Conference 2010 企画実行委員会事務局

(独) 物質・材料研究機構 企画部国際室

305-0047 茨城県つくば市千現1丁目2-1

TEL: 029-860-4334 FAX: 029-859-2049

e-mail: nims_conference@nims.go.jp